

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ソレイユの丘

目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 02 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	利用者を安全に避難させ、安心できる環境で過ごせる避難場所を確立し、法人全体で緊急時に対応できる体制の見直しと、長崎のグループホーム火災を教訓とした、非常災害時の取組みをマニュアル化し、職員間の連携強化を進めていく。	非常災害時の、避難経路、非常口、避難場所の再点検と、非常食、飲料水、毛布、利用者の情報やカルテの保管や備蓄について再確認し、利用者が安全に安心して暮らせる体制を目指していく。	6ヶ月
2		職員全員の技術力の向上を目指していく	利用者が重度化していく中で、職員の介助時間が増加し、職員3人で9人の利用者をサービスの質を維持しながら提供していく事について、検討し、充実したケアの実践に繋げていく。	利用者職員との信頼関係が強くなるにつれて、必要以上の介護を提供し、自立支援に向けた取り組みから逸脱するケースもあり、利用者の身体機能維持のためのケアサービスについて、職員全員で検討し、過剰サービスの提供を改めていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。